

簿記2級学習のための 3級思い出しセミナー

担当講師:上原 康司

2021年度から新形式の試験に ～2級の新形式について～

【1】 試験時間

120分 ⇒ 90分

【2】 ネット試験の開始

統一試験 = 従来からの試験方式（紙）

ネット試験 = コンピュータ上

【3】 統一試験

全国一斉 6月、11月、2月 に実施

試験会場は会議所指定の場所

合格発表 2～3週間後

試験問題・計算用紙は持ち帰り不可

【4】 ネット試験

随時実施 （CBT－Solutions へ予約）

試験会場は CBT-S のテストセンター

合格発表 試験終了直後

試験問題・計算用紙は持ち帰り不可

合格のポイント

～ 2級の学習範囲をまんべんなく～

【商業簿記】

第1問 (20点) 仕訳問題 (@4点×5題)

第2問 (20点) 連結会計・個別論点

第3問 (20点) 個別決算・本支店会計

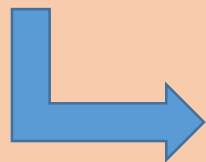
【工業簿記】

第4問 問1 (12点) 仕訳問題

問2 (16点) 個別原価計算, 総合原価計算

第5問 (12点) 標準原価計算, 直接原価計算・CVP分析

3級の本試験 第2問 出題内容



学習済みですか？

[例]

◆ 有形固定資産（固定資産台帳、減価償却、記帳）



2級では

第2問 20点問題 : 固定資産の個別論点

◆ 答案用紙の総勘定元帳記帳（締め切り等）



2級では

第2問 20点問題 : 答案用紙が総勘定元帳

◆ 商品有高帳の記入



2級では

第2問 20点問題 : 商品売買

工業簿記の内容

製品の製造原価を計算 ⇒ 記帳 ⇒ 財務諸表の作成

受注生産 : 個別原価計算

大量生産 : 総合原価計算

目標設定 : 標準原価計算(原価の管理)

経営計画 : 直接原価計算(利益計画)

簿記の5要素とその増減

資 産	〔	左側(借方)が増加	右側(貸方)が増加	〕
負 債	〔	左側(借方)が増加	右側(貸方)が増加	〕
資本 (純資産)	〔	左側(借方)が増加	右側(貸方)が増加	〕
収 益	〔	左側(借方)が増加	右側(貸方)が増加	〕
費 用	〔	左側(借方)が増加	右側(貸方)が増加	〕

財務諸表

貸借対照表

資 産	負 債
	資 本 (純資産)

損益計算書

費 用	収 益
(当期純利益)	

次の取引の仕訳をしなさい。

約 1 分間

START

(問0) 商品 ¥100を仕入れ、代金は現金で支払った。

現金	当座預金	売掛金	買掛金	売上	仕入
----	------	-----	-----	----	----

勘定科目の参考

皆さんのノート
こんな感じで

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
仕入	100	現金	100

仕入 100 / 現金 100



次の取引の仕訳をしなさい。

(問1) CAT(株)は、銀行から現金 ¥ 500を借り入れた。

現金	当座預金	売掛金	買掛金	借入金	資本金
----	------	-----	-----	-----	-----

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
現 金	500	借入金	500

(答1)CAT(株)は、銀行から現金¥500を借り入れた。

資 産(+)		負 債(+)	
借方科目	金 額	貸方科目	金 額
現金	500	借入金	500



次の取引の仕訳をしなさい。

(問2) 商品 ¥500を仕入れ、代金の内 ¥200は小切手を振り出して支払った。残額は、月末に支払うこととなった。

現金	当座預金	売掛金	買掛金	売上	仕入
----	------	-----	-----	----	----

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
仕 入	500	当座預金	200
		買掛金	300

(答2) 商品 ¥500を仕入れ、代金の内 ¥200は小切手を振り出して支払った。残額は、月末に支払うこととなった。

費用(+)		資産(-)		負債(+)	
借方科目	金額	貸方科目	金額	借方科目	金額
仕入	500	当座預金	200		
		買掛金	300		



次の取引の仕訳をしなさい。

(問3) 注文を受けていた商品 ¥500を発送した。代金は注文時に受け取っていた手付金 ¥100を控除し、残額を来月末に受け取ることにした。

現金	前払金	売掛金	前受金	売上	仕入
----	-----	-----	-----	----	----

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
前受金	100	売 上	500
売掛金	400		

(答3) 注文を受けていた商品 ¥500を発送した。代金は注文時に
受け取っていた手付金 ¥100を控除し、残額を来月末に受け取る
こととした。

負債(－)		資産(+)		収益(+)	
借方科目	金額	貸方科目	金額	借方科目	金額
前受金	100	売上	500		
売掛金	400				



次の取引の仕訳をしなさい。

(問4) 配送用トラック ¥1,500を購入し、代金は翌月末に当社の当座預金口座から自動車販売会社の普通預金口座へ振り込むこととした。

現金	当座預金	普通預金	車両運搬具	買掛金	未払金
----	------	------	-------	-----	-----

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
車両運搬具	1,500	未 払 金	1,500

(答4) 配送用トラック ¥1,500を購入し、代金は翌月末に当社の当座預金口座から自動車販売会社の普通預金口座へ振り込むこととした。

資 産(+)		負 債(+)	
借入科目	金 額	貸方科目	金 額
車両運搬具	1,500	未 払 金	1,500



次の取引の仕訳をしなさい。

(問5) 売掛金 ¥ 1,000 の回収として、得意先振出の小切手 ¥ 600 と
約束手形 ¥ 400 を受け取った。

現金	当座預金	受取手形	売掛金	支払手形	売上
----	------	------	-----	------	----

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
現 金	600	売掛金	1,000
受取手形	400		

(答5) 売掛金 ¥1,000 の回収として、得意先振出の小切手 ¥600 と
約束手形 ¥400 を受け取った。

資 産(+)		資 産(+)		資 産(-)	
借方科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
現 金	600			売掛金	1,000
受取手形	400				



次の取引の仕訳をしなさい。

(問6) 買掛金 ￥800について約束手形を振り出して支払った。

現金	当座預金	受取手形	買掛金	支払手形	仕入
----	------	------	-----	------	----

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
買掛金	800	支払手形	800

(答6) 買掛金 ¥ 800について 約束手形を振り出して支払った。

借方科目		貸方科目	
金 額		金 額	
買掛金		支払手形	
800		800	



次の取引の仕訳をしなさい。

(問7) CAT(株)に¥500を貸し付け、約束手形を受け取った。
その際に利息¥10を差し引き、残額を当社の普通預金口座から
先方の当座預金口座に振り込んだ。

普通預金	受取手形	手形貸付金	支払手形	手形借入金	受取利息
------	------	-------	------	-------	------

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
手形貸付金	500	普通預金	490
		受取利息	10

(答7) CAT (株) に¥500を貸し付け、約束手形を受け取った。
その際に利息¥10を差し引き、残額を当社の普通預金口座から先方の
当座預金口座に振り込んだ。

資産 (+)		資産 (-)		収益 (+)	
借方科目	金額	貸方科目	金額	借方科目	金額
手形貸付金	500	普通預金	490		
		受取利息	10		

～代金が後日決済される場合～

	資 産	負 債
商品代金	売掛金	買掛金
商品以外の 代金	未収入金	未払金

～約束手形について～

	資 産	負 債
商品代金	受取手形	支払手形
資金の貸借	手形貸付金	手形借入金



次の取引の仕訳をしなさい。

(問8)従業員に対する給料につき、預り金 ¥ 200を差し引き ¥ 800
現金で支払った。

現金	普通預金	立替金	預り金	給料	法定福利費
----	------	-----	-----	----	-------

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
給 料	1,000	預り金	200
		現 金	800

(答8)従業員に対する給料につき、預り金 ¥ 200を差し引き ¥ 800
現金で支払った。

費用(+)		資産(-)		負債(+)	
借方科目	金額	貸方科目	金額	貸方科目	金額
給料	1,000	預り金	200		
		現金	800		



次の取引の仕訳をしなさい。

(問9)出張中の従業員が帰社し、旅費交通費の精算を行い、概算払いしていた¥500より¥150不足していたので、現金で支払った。

現金	貸付金	立替金	仮払金	仮受金	旅費交通費
----	-----	-----	-----	-----	-------

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
旅費交通費	650	仮払金	500
		現 金	150

(答9)出張中の従業員が帰社し、旅費交通費の精算を行い、概算払いしていた¥500より¥150不足していたので、現金で支払った。

費用(+)		資産(-)		資産(-)	
借方科目	金額	貸方科目	金額	借方科目	金額
旅費交通費	650	仮払金	500		
		現金	150		



次の取引の仕訳をしなさい。

(問10) 得意先が倒産し、前期に生じた売掛金 ¥ 1,000 が回収不能となった。

なお、貸倒引当金の残高が ¥ 800 ある。

当座預金	受取手形	売掛金	貸倒引当金	貸倒損失	租税公課
------	------	-----	-------	------	------

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
貸倒引当金	800	売掛金	1,000
貸倒損失	200		

(答10) 得意先が倒産し、前期に生じた**売掛金** ¥1,000が**回収不能**となった。

なお、**貸倒引当金**の残高が¥800ある。

資 産△(－)		費 用(＋)		資 産(－)	
借入科目	金 額	貸方科目	金 額	貸方科目	金 額
貸倒引当金	800	売掛金	1,000		
貸倒損失	200				

～決算の手続き～

- I 帳簿に区切りをつけ（＝締め切り）
- II 財務諸表を作成する . . . 一連の手続き

1. 決算整理前T/B

2. 決算整理

3. 決算整理後T/B

4. 帳簿の締切 . . .

5. 財務諸表作成

① 損益勘定の設定

② 収益と費用の勘定残高を①へ振替

③ ②の貸借差額を繰越利益剰余金勘定へ

④ 帳簿を締め切る



次の決算整理仕訳を下さい。

(問11) 決算にあたり金庫の中を実査したところ、次のものがあつた。
紙幣・硬貨 ￥600、得意先振出の小切手 ￥350、
得意先振出の約束手形 ￥100
なお、現金勘定の残高は ￥1,000 で、不一致の原因は不明である。

現金	当座預金	受取手形	貯蔵品	通信費	雑損
----	------	------	-----	-----	----

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
雑 損	50	現 金	50

(答11) 決算にあたり金庫の中を実査したところ、次のものがあつた。

紙幣・硬貨 ¥ 600、**得意先振出の小切手** ¥ 350、

得意先振出の約束手形 ¥ 100

なお、現金勘定の残高は ¥ 1,000で、**不一致の原因は不明**である。

費用(+)		資産(-)	
借方科目	金額	貸方科目	金額
雑 損	50	現 金	50

次の決算整理仕訳をしなさい。



(問12)決算にあたり、決算修正仕訳を行う。(会計期間は、×1年4月1日から×2年3月31日まで)

保険料勘定の¥1,200は、×1年10月1日に支払った向こう1年分である。

現 金	当座預金	前払費用	未払費用	保険料	雑 費
-----	------	------	------	-----	-----

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
前払費用	600	保険料	600

(答12)決算にあたり, 決算修正仕訳を行う。(会計期間は、×1年4月1日から×2年3月31日まで)

保険料勘定の¥1,200は、×1年10月1日に支払った向こう1年分である。

資 産(+)		費 用(-)	
借方科目	金 額	貸方科目	金 額
前払費用	600	保険料	600

次の決算整理仕訳をしなさい。



(問13) 売上原価を仕入勘定で計算する。
なお、期首商品棚卸高は¥500、期末商品棚卸高は¥600であった。
三分法により記帳する。

現 金	繰越商品	買掛金	売 上	仕 入	売上原価
-----	------	-----	-----	-----	------

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
仕 入	500	繰越商品	500
繰越商品	600	仕 入	600

(答13) 売上原価を仕入勘定で計算する。

なお、期首商品棚卸高は¥500、期末商品棚卸高は¥600であった。
三分法により記帳する。

資 産(+)		費 用(+)		資 産(-)		費 用(-)	
借方科目	金 額	貸方科目	金 額	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
仕 入	500	繰越商品	500	仕 入	600		
繰越商品	600						

次の決算振替仕訳をしなさい。



(問14) 決算整理後の勘定残高(一部)は次のとおりであった。
よって決算振替仕訳を行う。

仕入 ￥500 支払家賃 ￥600

現 金	繰越商品	未払金	仕 入	支払家賃	損 益
-----	------	-----	-----	------	-----

借方科目	金 額	貸方科目	金 額
損 益	1,100	仕 入	500
		支払家賃	600

(答14) 決算整理後の勘定残高(一部)は次のとおりであった。
よって決算振替仕訳を行う。

仕入 ¥ 500 支払家賃 ¥ 600

収益 と費用 を集める勘定		費 用(一)		費 用(一)	
借方科目	金 額	貸方科目	金 額	貸方科目	金 額
損 益	1,100	仕 入	500	支払家賃	600
		支払家賃	600		

【 2 級 対 策 】

・簿記2級を着実に学習したい！

➡ 2級合格本科生【2022年6月・11月統一試験目標】

3級復習
②

2級講義
③⑩

解法テク
ニック
講義
⑧

2級直前対策
⑧
総まとめ講義・答練

本
試
験

・簿記3級を振り返りつつ着実に学習したい！

➡ 2級ダイレクト合格本科生【2022年11月統一試験目標】

簿記初学者
にもオススメ！
3級はネット
試験で腕試し
も！

3級講義
⑫

2級講義
③⑩

解法テク
ニック
講義
⑧

2級
直前対策
⑧

本
試
験

2 級対策【体験入学】

京都校・・・4/ 3（日）13：00～15：45 工簿①

梅田校・・・3/25（金）10：00～12：45 工簿①
3/25（金）18：50～21：35 工簿①

なんば校・・・4/ 2（土）13：00～15：45 工簿①

神戸校・・・4/ 2（土）13：00～15：45 工簿①

詳しい日程表は、T A C ホームページからご覧いただけます。

★TAC 簿記検定 開講講座一覧サイト

https://www.tac-school.co.jp/kouza_boki/boki_crs_idx.html

★TAC 簿記検定 教室講座日程表サイト

https://www.tac-school.co.jp/kouza_boki/boki_nittei.html

★TAC セミナー/講座説明会/体験入学 案内サイト

<https://www.tac-school.co.jp/guidance.html>

★ TAC 個別受講相談予約サイト(西日本地区)

<https://www.tac-school.co.jp/west/soudan.html>

★TAC 検定・資格&仕事紹介セミナー 案内サイト

<https://www.tac-school.co.jp/west/s.html>